



山崎高等学校に縁のある「ひと・こと・もの」をつなぐ年会誌

# 山 高

No.  
55

兵庫県立山崎高等学校同窓会報

題字:元会長 大西 耕雲氏(第3回生)

■発行日/平成29年9月30日

■発行所/県立山崎高等学校同窓会 <http://www.yamako-dosokai.jp/>

■印刷所/(有)マウス



撮影 = STUDIO UEYAMA P.C.S・photo therapy timegraph 上山 毅氏 高校42回

## 主な内容

### ○山崎高等学校彩人

できる雑誌編集者とは

三木 哲夫

友よ～今度会えるその日まで元気でな～

小 椋 政 彦

### ○がんばってます新・社会人

平 岩 璃 沙(高知県立大学)

柳田菜々子(宍粟市役所)



## ご挨拶

山崎高等学校同窓会

会長

志水宣之

(第23回生)



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より同窓会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年六月開催の理事会において本條会長の後任として任命いただきました、山崎高校二十三回生の志水宣之と申します。どうぞよろしくお願いいたします。若き日、疾風怒濤の三年間を過ごした「山高」に、このような形で再度関わりを持たれたことを、奇跡のごとき

## ご挨拶

山崎高等学校同窓会

副会長

三谷恭三

(第24回生)



山崎高等学校卒業生の皆様こんにちは。このたび思いもかけず当同窓会の副会長をさせていただくことになりました。多くの卒業生の方々が、世代を超えて各方面で活躍されている中で誠に僭越とは思いますが、微力ながら会長を補佐して、できる限り努めさせて

僥倖と自覚し、精一杯務めさせていただく所存でございます。

副会長には山崎高等学校ひいては地元六栗を知り抜いておられる、宇野正憲(十七回生・留任)、安井唯善(三十回生・留任)、谷笹摩弥(三十四回生・留任)、三谷恭三(二十四回生・新任)に就任いただき、百万の味方を得た思いです。

本校は明治四十年(西暦1907年)に創立され、その八年後には同窓会が設立されました。よって本同窓会は本年で百二年をむかえ、六栗の山々の大木のように年輪をしっかりと刻み大きな根を各地に張っております。現在は東京支部・阪神支部と二つの支部を設けて活動しており、どこにいても「山高」という強い絆で結ばれております。

現在の六栗市は、十歳代から二十歳代前半の市外転出数に比べ、二十歳代後半の転入数が大きく減少している状況でございます。

現在私は、旧六栗郡と佐用町三河地区をエリアに神戸・産経・毎日の三紙を扱う新聞販売店を営んでおります。多くの読者に恵まれる中で、「地域のことから世界の情報まで、日々間違いなく読者の皆様にお届けする」このことを一心に仕事をしております。その中でいつも思うのは、この山崎で生かしていただいている以上、仕事以外にも地域のために出来る限りのお手伝いをすると言うことです。あいにく山高同窓会にはこれまではほとんど関わってまいりませんでしたので、今後はどうか宜しくご指

況です。これは、進学に伴い六栗市を離れた若者が、郷里に戻ってこない現状を示しています。地域の著しい人口の減少は、域内の経済的な停滞を生むだけでなく活力も減退させてしまっています。そこで、本年度より普通科特色選抜において、将来、教員として地域に貢献できる人材の育成を目的とした「教育類型」が開設されました。「民風振作」。教育者として地元に戻り、優秀な生徒を育み、その力によって将来、六栗に新たな民風を興し、地元を根本から立てなおしていく人材を輩出していただきたく願っております。同窓会としても、出来ることがあれば、微力ながら力添えする所存でございます。

近年、地域への関心が希薄化し、人々の結びつきや各種団体の帰属意識の低下がささやかれるなか、同窓会や母校に対する愛着心が薄れていくこと

導いただきますようお願いいたします。さて今から遡ること46年前私が3年生のあの夏も高校野球に全国が沸いていました。で、なんとこの山崎高校が兵庫県大会で優勝は逸したものの、準優勝に輝いた年でした。思い起こせば誰もがそうでしょうが、高校生の3年間は実に多感で、勉強以外にも部活や家庭で毎日毎日が輝いたり真つ暗になったりで、友達や家族や先生や周囲の人間関係に泣き笑って、笑いの日々だったような気がします。そして、将来の夢を好きなように描き、希望と不安に包まれて卒業したあの頃がとて懐かしく思われます。このたびはからずも、再び「山高」

を憂慮しております。会則に本同窓会の目的を「会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与することを目的とする。」と高らかに謳っております。理事会としてはその趣旨に則り、今まで以上に、各回生の同窓会の開催や部活動の支援等に積極的に取り組み、在校生と同窓会の連帯を強めてまいりたいと思っております。また、同窓会員相互の連帯が更なる深化を図れますよう、会員各位から知恵をいただき、少しでも同窓会活動が活性化され、女性や若い世代にも多数参加していただける様な「山高」同窓会にしたいと思っております。

今後とも同窓会の活動に対しご協力ご支援をお願い申し上げますとともに、山崎高校の更なる発展と同窓会会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

とかかわりを持つことが出来、50年を経た現在の山高と、そこに学ぶ生徒さんたちに逢う機会を大変楽しみにしております。同窓生の皆さんもどうか機会があれば、私たちの母校に足を運んでいただきたいと思います。

〈プロフィール〉  
1953年(昭和28年)山崎町生まれ  
神戸大学 工学部建築学科卒業  
姫路市内の建築設計事務所勤務の後、  
旧山崎町役場に奉職  
昭和59年 神戸新聞山崎販売所入社  
後現在に至る  
趣味 謡曲、ゴルフ



## 新しい歴史の 創造に向けて



校長  
野谷るり子  
(第28回生)

同窓会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

進路指導・部活動・「山高街の駅」など、多方面における本校の魅力ある教育の推進にしまして、平素からご協力とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

今年度、本校は創立百十年を迎えます。振り返ると、平成十九年十一月に創立百周年記念式典を挙行し、同時に創立百周年記念誌を発行。平成二十年三月には同窓会から創立百周年記念「同窓会館」を受贈しました。歴代の同窓会長様をはじめ、この十年間は更に多くの方々にお世話になり、感謝の思いで一杯です。六月十七日(土)に平成二十九年同窓会理事會が開かれ、役員改選を経て新役員が紹介されました。本條潔旧会長様にはひとかたならぬお世話になりました。この紙面をお借りして感謝申し上げます。志水宣之新会長様、これからもご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

創立百十年の記念行事として、十一月に記念誌の作成と講演会を予定しております。昨年度から複数回の記念行事委員会を開いた結果、十一月十日

(金)午後には講演会を開催することに決定いたしました。講演者は本校三十三回生、兵庫県立大学環境人間学部教授永井成美様に依頼しております。栄養教育学、栄養生理学がご専門で、食育・栄養・健康面をはじめ、ご自身の山崎高校生時代のお話など、多方面に渡って聞かせていただけることと楽しみにしております。同窓生の皆様には、ふるってご参加くださるよう、お願いいたします。

さて、今年度から開始した本校の新しい魅力を紹介いたします。普通科特色選抜で教育類型が始まり、十八名が入学しました。兵庫教育大学との高大連携、地域の小学校との交流や授業体験、自然豊かな宍粟市での体験活動を通じて、将来地元で教育者となって活躍する人材を育てて参ります。七月末には梯の野外活動センター・音水湖カヌークラブで一泊二日の自然体験実習を行いました。チーム作りやリーダーシップについて学び、キャンプファイヤーでは一人一人が将来の夢について語り、共通の目標を持った仲間としての絆を深めました。必ず夢を実現させ、将来は「地域に愛され、地域が誇れるリーダー」となって活躍していただけることを期待しています。また、同窓会とPTAからご支援いただいで昨年度から始めました国際交流活動ですが、この夏も一年生二名が九日間の西オーストラリア語学研修に参加しました。感性豊かな高校時代での異文化体験は、何にも代えがたい一生の財産になることでしょう。

歴史を重んじながらも新しい魅力づくりに挑戦し、グローバルな視点と共に、自分の育った地域に感謝の心を忘れず、「ふるさとを忘れぬ賢さ」を持った人材を育成して参ります。山崎高校の新しい

### 平成二十九年 兵庫県立 山崎高等学校同窓会 理事会のご報告

清秋の候、皆様にはいよいよよご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろは山崎高等学校同窓会運営にご支援ご協力賜わり誠にありがとうございます。

さて、去る六月十七日(土)平成二十九年同窓会が山崎町内の日新会館で開催され、学校関係者をはじめ、多数の方々のご出席をいただきました。

本條潔同窓会会長のもと、平成二十八年年度の事業報告・会計報告がされ承認されました。また、今年度は本会長の退任に伴う役員改選がありました。選考委員による審議により、志水宣之新会長、三谷恭三新副会長が選任され新体制で臨むこととなりました。平成二十九年年度の事業計画・予算として、同窓会より百十年記念式典への支援金、オーストラリア語学研修の引率費用半額助成金(二十万円)、部活動支援金(二十万円)、進路指導支援金(二十万円)、課外活動充実支援金(三

い歴史の創造に向けて、同窓生の皆様とともに全教職員が心一つとなって邁進いたします。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

十万円)の支出についての提示があり慎重審議され、全て満場一致で承認されました。(詳細につきましては事務局にお尋ねください)

続いて事務局より兵庫県立山崎高等学校同窓会報第五十五号【山高】の発行に際し、ご出席の方々に原稿寄稿の依頼がありました。報告事項・審議事項等、協議事項も滞りなく進行しましたことご報告申し上げます。

その後、和やかに歓談し、山崎高校並びに同窓会会員各位の益々のご健勝を願って散会致しました。今後とも皆様には倍旧のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。





## 山崎高等学校

## 彩人

できる雑誌編集者とは  
変わる読者を掴まえる&スクープを  
放つためには何が必要か中央公論新社  
学芸局長  
第29回生  
三木 哲男

振り返ってみると、相当に行き当たりばったりの人生だったなあというのが率直な気分です。ただ、節目で大切な人に出会い、その縁でその後の人生が拓かれて行ったのです。

進み、将来はエンジニアになるつもりでした。ところが、三年生の時に現代国語と体育の先生の警咳に接することができ、その影響で受験直前に私立文系にコースを変更しました。もちろん、すべて不合格。三月になってなんとか国立二期校滑り込みました。このころ、ばくぜんとメディアに進むことを考えていたのですが、受かった大学は教員養成系。就職はすべて落ちて、なんとか潜り込んだのが、繊維関係の業界専門紙でした。七年ほど勤めたのですが、どうしても社会派ジャーナリズムへの思いを断ちがたく、31歳でフリーライターに転身。同僚からは「絶対食えないぞ」と呆れられました。その通り、食えませんでした。妻と子ども二人抱えて、六カ月間、収入はゼロ。苦しかったですね。

ここからは駆け足です。ひよんな縁で香港に単身渡りました。返還前後の香港のルポを書くかと思ったのです。周りはみんな反対しました。そのとき一人だけ、「行きなさい。なにかがつかめますよ」と言ってくれたのが、当時の『中央公論』の名物編集長でした。

三年半の香港を経て帰国し再びフリーに復帰。もう40手前でしたから、ここでずり落ちると二度と這い上がれない。必死で働きました。週刊誌・月刊誌に書きまくりました。一年のうち、休んだのは元旦とGW合わせて、たったの三日という生活でした。

40歳で中央公論新社に誘われました。印象に残っている仕事は、『中央公論』で小泉純一郎総理と官房長官だった安倍晋三氏にインタビューしたこと。小泉総理の深い読みに驚き、安倍長官の

原稿棒読みにあくびをこらえたことを覚えています。その後は『婦人公論』編集長に就任。テレビの世界ともつながり、関西では「たかじんのそこまで言う委員会」、関東では「ノンストップ!」のコメントーターを務めました。

何が言いたいのかというと、結局、人は自分が何に向いているのか最後までわからないということ。芸能界の大御所、ビートたけしの言葉が身に沁みます。「成功の秘訣は、一番なりたいたいものじゃなくて、その人にとって二番目か三番目の、違う仕事に就くことだ」

目の前の仕事を死ぬ気でやる。人との出会いを大切に。この二つができたなら、行き当たった仕事为天職なのだと思います。

1958年、兵庫県生まれ。東京学芸大学卒業。織研新聞記者を経てフリーライター。2000年に中央公論新社入社。『中央公論』編集部を経て、2006年から『婦人公論』編集長を7年半務める。2016年6月から現職。フジテレビ「ノンストップ!」、フジテレビ「報道2001」、読売テレビ「なんでも言う委員会」などのコメントーターを務める。

友よ ~今度会える  
その日まで元気でな~

第45回生 小椋 政彦

地元山崎に戻り、社会人生活何年目

かに、とある居酒屋で高校時代に2年間お世話になった恩師に出会いました。私は近づき「先生お久しぶりです。」返ってきた応えは、「君誰やったかいな。」でした。そうです。私は高校時代、運動も勉強もそこそこで、増して、やんちゃでもなく、ごく普通の目立たない高校生活を過ごしてきたということ。

そんな目立たない私に、今回の原稿依頼があり、これまでの投稿者を拝見させていただいて驚きました。たまたまかもしれないですが、どちらも大学教授の先生の記事でした。大丈夫かと少し考えさせていただきましたが、これも、与えていただいた機会を無駄にする訳にはいかないので、少しばかり手早くそな文章を投稿させていただきます。

特に取り柄も無い私ですが、社会人になり、ある人達との偶然の出会いがありました。急速加入した「ウォーターレジ」というおやじバンドです。人見知りでおとなしい私が、担当するパートは、ボーカルというものです。人前で歌うことなど想像もしませんでした。大人になつてから味わうことも少ない、何ともいえないドキドキ感。すぐにハマり、平成17年には、佐用町にある西はりま天文台公園で開催された星のコンテストでグランプリをいただき、同公園のテーマソングとして我々の曲「星空へ贈る歌」を使用いただいたことを機会に、気が付けばもう十何年が過ぎました。自治会や地域のイベントで演奏させていただくことも増え、昨年は、太子町のアスカホールで毎年開催されている「ライブインあすか」で準優勝という賞をいただきました。今後とも地



がんばってます  
新・社会人



輝ける場所

高知県立大学 文化学部  
第69回生 平岩璃沙

私が山崎高校を卒業してから4か月がたちました。大学へ入学した当初は知らない土地で、周りも知らない人ば

道に活動を続けていきたいと思っ  
たところ、今年の四月のことです。高校  
と大学ですと一緒で過ごしてきた親  
友の訃報。もう二度と会えないと思  
うと、心が詰まりました。そんな彼と過  
した青春の思い出を綴った手紙を書  
きました。そして、曲を作りました。た  
ぶん彼の悲報を知らない人もいと思  
うので、この同窓会便りを目にした同  
級生に伝えたいです。彼は、みんなの心  
の中で生き続けていることを。

かりでどうなるかと思っ  
ていましたが、今はとても充実した毎日を送っ  
ています。  
兵庫県と高知県で一番の違いはやは  
り気候だと感じました。6月にはす  
でに夏のような暑さで、今年の夏は40度  
を超えるかもしれないといわれるほど  
でした。兵庫のような曇りも少なく、雨  
か晴れというはつきりした気候が私に  
は少し驚きでした。また、海が近いため  
津波への対策が充実しており、高知県  
立大学でも、事務室などの貴重なもの  
が置いてある部屋はすべて3階より上  
の階にあります。そうした高知県の緊  
急時の対策も兵庫県と全然違ったもの  
のように思いました。  
私は高知県にきて「旅鯨人」というチ  
ームでよさこいを始めました。高知県  
はよさこいの本場であり、私はここで  
たくさん先輩方や同回生に出会いま  
した。気温が30度を超えるなかでの練  
習は大変なことも多かったですが、  
100人近いメンバーで「よさこい祭  
り」という1つの目標に向かって練習  
していくことは感慨深いものがありま  
した。高知に来た当初はまさか自分が  
よさこいをするとは思っていません  
でしたが、現在ではやってよかったです  
から言うことができます。大変な思  
いもし、つらいこともありましたが、  
本祭りでみんなで踊りきった時は今ま  
でにない感動がありました。「学校やバ  
イトではうまくいかない人も、ここ  
でなら輝ける、そんな場所であってほ  
しい。」これは私が先輩に言われた言葉  
です。「旅鯨人」の中でなら誰でも輝  
ける、それは本当のことでした。みんな  
が終始

笑顔で踊っている姿は一人一人がと  
ても輝いて見えました。  
後輩の皆さんは今勉強だったり部活  
動だったり、自分で決めた活動を一生  
懸命行っていると思います。その中で、  
自分の輝ける場所を見つけることは  
できていますか。大変なこと、つらいこ  
とも多くあるとは思いますが、その中  
に少しでも楽しみを見つけて出せたら  
良いと思います。そして、みなさん  
にはまだまだ多くの可能性が広がっ  
ています。これからたくさんの人と出  
会い、自分自身の長所や誇りを見つ  
けてほしいと思います。  
.....  
私が山崎高校を卒業して宍粟市役所  
に就職してから、早5ヶ月が過ぎよう  
としています。私は市民課で戸籍や住  
民票、印鑑登録等の証明書の発行や、  
出生届や死亡届、婚姻届、離婚届等の受  
理などを主にしています。日々覚えるこ  
とが多く大変ですが、一生懸命頑張  
っています。戸籍や住民票などは個人情



就職して  
感じたこと

宍粟市役所  
第69回生  
柳田菜々子

報であり、取り扱いにも十分気をつけ  
なければいけません。そのため、戸籍に  
ついての研修を受けたり、戸籍法や住  
民基本台帳法などの法律の勉強もして  
います。とても大変ですが、やりがい  
がある仕事です。  
私が働いている中で、大切なことは  
数え切れないくらいあるのですが、そ  
の中でも特に大切だと感じていること  
が2つあります。  
1つは、分からないことは必ず聞い  
て理解することの重要性です。  
当たり前のことですが、それが非常に  
重要だと思っています。学生の時は「分  
からなくてもそのまましておく」とい  
うことがよくありました。特に苦手な  
教科についてはあきらめもあって、  
多かったように思います。しかし、社  
会人になると、分からないことをま  
まにしておく、いざという時、自分が  
困るだけでなく、周囲の方々にも迷惑  
をかけてしまいます。  
もう1つは、学生の時にしっかりと  
勉強しておくことの大切さです。私自  
身働き始めて、法律や条例などをも  
っとしっかり学習しておけば良かった  
とだけ思ったことか。高校時代、私は  
そんなに遊んでばかりいたわけでは  
なかったと思っただけですが、今思  
えば、今よりは時間があったと思います。  
後輩の皆さんに伝えたいことはこの  
2つです。これからの自分のためにも  
仲間同士で支え合って、勉強や部  
活動を精一杯悔いの無いように頑張  
って下さい。



# 同窓生の庭

## 阪神支部

### 第五回総会

#### 開催報告

山崎高校同窓会阪神支部の第五回総会が平成二十九年一月二十九日、神戸・元町のパレス神戸で開かれました。同窓会本部の本條潔会長、山崎高校の野谷るり子校長を来賓に迎え、神戸や明石、阪神間をはじめ大阪、京都、奈良など各地から四十六人が集まりました。鯖尻昌弘支部長のあいさつを受けて議事に入り、理事会報告の第四期決算報告と役員改選を全員の拍手で承認しました。

役員改選では、鯖尻支部長が任期満了に伴って退任し、顧問に就任。後任の支部長に中野景介、副支部長に岡田泰介の両常任理事が就きました。岡田副支部長は、小林俊明副支部長が兼ねていた会計監査も引き継ぎました。

あいさつに立った中野支部長は「支部が誕生して五年の節目。大いに親睦を深めつつ、同窓のネットワークを若い世代の山高OBたちにも広げていきたいと思います。」と呼びかけました。

本條会長の発声による乾杯で懇親会

に移ると、会場は一気になごやかな雰囲気になりました。野谷校長は、地域と手を携えての日ごろの山高生たちの頑張り、と、森林環境科学科と四月開校の県立森林大学校との連携にも大きな期待がかかっている、紹介しました。参加者一同、目を細めて聞き入っていました。

実粟の地酒の差し入れもあって大いに盛り上がり、岡田副支部長が「花本秀生支部長（現・顧問）で立ち上がった、早くも三代目。三代目で潰れないか心配」と笑いを誘って中締め。記念写真の撮影をもって、ようやくお開きとなりました。次回の第六回総会への連続参加者にはこの記念写真をプレゼント、との声も出ていました。



※全国に広がる同窓生の皆さんによる、情報、企画のコーナーです。おたよりもお待ちしております！

## 山崎高校同窓会阪神支部の第6回総会について(ご案内)

山崎高校同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

平成25年1月、多くの同窓生の皆様にご参加いただき、「山崎高校同窓会阪神支部」が設立されました。

これを機会に、今後益々、同窓生の交流の輪を広げていければ幸いかと考えております。また、故郷を離れ、不安を抱いて就職した新社会人の激励や相談の場にもなればとも考えております。

同窓生の皆様方におかれましては、当支部活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、阪神支部第6回総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

お忙しいとは存じますが、在住・在勤の地域には特にこだわりませんので、お知り合いの同窓生の方をお誘いの上、多数ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。特に、若手の方や平成29年4月新社会人の方の参加を心よりお待ちしております。

なお、会場の準備がございまして、恐れ入りますが、ご出席いただける方については、下記連絡先までご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○日時 平成30年1月28日(日) 12時～14時

○場所 萬壽殿(最寄駅: JR・阪急・阪神・地下鉄「三宮駅」)

神戸市中央区中山手通2-20-4 注) これまでと場所が、変更になっています

TEL: 078-231-4531

○会費 5,000円(飲食代) ※但し、新社会人は1,000円



※ご出席いただける方は、12月31日までに次によりご連絡願います。

連絡先 神戸市垂水区西舞子6-3-70-603 森下二三哉 あて

メールアドレス sp3x8a99@helen.ocn.ne.jp

電話番号 078-783-8945 携帯番号 090-3038-0676

連絡方法 「メール」若しくは「はがき」

連絡内容 お名前、卒業年次又は卒回生、住所、電話番号

山崎高校同窓会阪神支部

支部長 中野景介(S44卒)

副支部長 小林俊明(S41卒) 岡田泰介(S44卒)

事務局 衣笠達也(S53卒) 森下二三哉(S56卒)



# 9 回生花見同窓会

第9回生 石田 房子

私達9回生は山崎高等学校を卒業して60年になりました。1組から6組の関西在住の人を誘って下さって、昨年、の夙川公園の花見会に続き、今年は4月3日に須磨浦公園に31名が集いました。卒業後初めてお会いした方、何十年ぶりの方にお目にかかれ、懐かしさでいっぱいでした。残念ながら桜の花は今にも咲きそうな蕾、急遽須磨浦公園山上へと移動しました。ロープウェイとカローレーターという珍しい乗り物で山上に登り、明石海峡大橋、淡路島、神戸市街、大阪、紀伊半島などの展望を賑やかに楽しみました。その後は下山して昼食会場へ。会食の前に9回生で逝去された方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。

楽しい時間は早く過ぎるものです。お世話いただいた方々に感謝し、元気で再会できることを誓い合いました。

山高は今年、創立110周年とのこと、グローバル化に対応され、海外に語学研修をされたり、海外の学生を招いて交流されているそうで夢のようです。なお一層の発展を心から祈念いたします。



## 山崎高校 創立110周年記念行事について

本年、山崎高校はおかげさまをもちまして、創立110周年を迎えることが出来ました。つきましては、同窓会として「記念誌」の発行と「記念講演会」の実施をすることになりました。詳細は下記の通りです。

**@記念講演** 日時：11月10日(金) 13:00～  
場所：本校体育館  
講師：兵庫県立大学環境人間学部教授 永井成美様(本校第33回卒業生)

**@記念誌** 内容：100周年からこの10年間についてを写真を中心にまとめたもの  
発行時期：記念講演と同時期を予定



永井成美教授

記念講演会へのご参加をお待ちいたしております。  
尚、準備の都合上、事前にご連絡ください。  
記念講演の聴講を希望される方は、本校ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、山崎高校へ郵送またはFAXでお申込み下さい。  
ご不明の点は同窓会事務局(電話番号0790-62-1730呼出)にお問合わせ下さい。

### 《永井成美教授の略歴》

1981.3	兵庫県立山崎高等学校卒業
1983.3	兵庫県立姫路短期大学卒業後、兵庫県の保健所に管理栄養士として勤務
1999.3	日本女子大学家政学部食物学科卒業
2004.3	京都大学大学院人間・環境学研究科 修士および博士後期課程修了
2003.4～2008.3	岡山県立大学保健福祉学部栄養学科講師
2008.4～2009.3	同 准教授
2009.4～2013.3	兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程准教授
2013.4～	同 教授

《社会活動》 日本栄養改善学会評議員、日本肥満学会刊行編集委員、時間栄養科学研究会幹事ほか

### 《研究内容》

専門は、栄養生理学、栄養教育学。食品やその成分、食事に伴う五感や情報が、私達の健康や満足感などに及ぼす影響について、生体信号解析という手法を用いて探求されています。近年では、「時間栄養学(いつ食べると良いか)」に関する研究もされています。



## 我が懐かしき恩師

## アクティブシニア

大岩 清人



大岩と聞かれて生徒指導部の・・・と思われる方が多いだろう。先日も「山高で教えてもらいました。」と言われたが、年かさから判断して「私の父ではないですか・・・」「よく似ていますよ。」「はい。段々似てきます。」ということがあった。

私が山高に在職したのは昭和五十三年から五十九年の六年間である。当時、共通一次テストが始まり、大学入試の変革期でもあった。進学指導主任の田路収三先生と情報を集め、徐々に普及し始めたパソコンで資料を作ったものだ。当時は木造校舎から鉄筋校舎へ建て替え時期でもあり落ち着かない期間でもあった。

進学指導室を通じて多くの生徒が立ち、大学・短大・専門学校を経て活躍する姿を見ている。中には「君は字が上手だから先生に向いている。」と言った男子生徒は高校教師になっ

るし、一浪して医者を目指す男子生徒はその道ですぐれた医者になっている。

三年間を進路指導部でお世話になり、担任団に入り三十六回生（大西教之学年主任）を受け持った。淡路島の国立青年の家でのオリエンテーションや体育祭やスキー修学旅行などの行事を始め、色々な場面が断片的に思い出される。今も付き合

いのある卒業生や年賀状のやりとりをする卒業生も多い。年の差はあれ大人の関係になり様々な話ができることを喜んでいる。三十六回生の卒業と共に姫路南高校へ転出した。

五十才で早期退職をし、父の後を受け継ぎ僧侶の道歩んでいる。接する相手が若者から高齢の方に移った。

教師時代には「広い世界を見よう」と夢や生きる楽しさを伝えようとしたものだ。

今は「生きるということとはしんどいことですね。」とか「佛教では地球のことを娑婆世界といいますが、娑婆とはイン



ドのサハーが語源で耐え忍ぶと言う意味です。お釈迦様はこの世界はしんどいのが実の相で、それを乗り越えようと一回り大きな幸せと成長があります。」と話す内容は変わった。

髪の毛も髭も白くなり、スクーターで町内をお参りに走り回っている。

今でもスキーはがんが滑る。今冬家族で富良野スキー場に行った。ゴンドラリフトにはアクティブシニア・ゴールドシートがあった。ゲレンデはスキーをする元気な高齢者と若者のスノーボードに二分されている。



# 回生だより



〜元気ですごしています〜

元気してます。  
昭和最後の女学生の眩き：

山崎高等女学校第26回生  
(山崎高等女学校第2回生)

中島 恭子(旧姓志水)

笑いとおしゃべりに元気づけられる食事を、姫路近在の仲間で始めて20年、50数回の集いを重ねてきた。私達は旧制女学校の有終を飾る第26回生である。

14歳の夏に戦争が終結、その後の人生は急激な社会の変動に奔走され続けた。長い間、闇に閉ざされた心にも文化の波が押し寄せ、心の扉が少しずつ開き始めた。テノール歌手の藤原美江・ソプラノの大谷列子両氏らの独唱会、それに続いて当世一流といわれたアーチストたちの度重なる演奏会、まるで、次元の異なる世界に誘われたような興奮と感動、歓喜の渦巻く中、その美声や演奏に酔いしれた。また、

数々の青春映画の中でも「青い山脈」は女学校5年生だった私達に強烈な刺激と、新鮮な共感を与え、体中に甘酸っぱい血が駆け巡った。あのイントロ口を耳にすると、老いの身にも心が弾む。このように戦後の溢れる事象を目を皿のようにして貪欲に吸収して人間を取り戻し、未来への展望を夢見た私達も当年86歳の齢を重ねてきた。食事を立ち上げた頃、20数人いたメンバーも、今は半数を切る有様である。だが中には芸文センターやフェスティバルの会員で、音楽を楽しんでいるもの、現役の講師で頑張っている達者もいる。今は過去に苦楽を共有した仲間たちと時空を超えた誘いの海にどっぷりつき、残された命の扉を大きく開けて笑いあり、ペーソス(哀感)ありの食事会に至福の極みを堪能し、生きがいを感じている。健康維持を合い言葉にぬくもりと安らぎの食事をでき得る限り続けたいと願っている。

### 前略

山崎新聞が送られてくるたびに発行の苦労とねづい感謝申し上げます。母校の発展にエールを送るばかりです。

正新聞と聞くとおぼろげに思いますが、高卒関係情報、投稿が皆無に等しい有様をみて寂しい思いをしております。

もうえん喜のしんがうが現在八十六歳の高齢がすればそれ以前の諸姉が実存が如何はるか推して知るべきです。山崎卒業生の膨大な員数からすればほんの一握りに未だに教員ニースの端々も残らないと承知はしてはいますが、高齢で

限られた命といとおもひ今と元身にかんがっている方に女学校時代の思い出をよび興し、生まるかと希望を。また現代の若人々には戦中戦後と生々しい女学生の心情、姿と感懐とをうもつたらと、あまそ独文の投稿にふみきつた次第です。よろしくお願ひいたします。

八月三日

中島 恭子



## 11回生 喜寿の同窓会

第11回生 大上 正司

昭和34年卒業、11回生の皆様お元氣ですか。平成26年10月末に、第6回目の同窓会が姫路で開催され、その席上、次は3年後に喜寿を祝し盛大に開催しようとして再会を約束しましたが、月日の流れるのは早く、もう3年が経過致しました。

幹事の方々にお世話いただき、すでにお手元に第7回目の同窓会の案内状が届いていると思いますが、10月31日正午より、姫路キャッスルに於いて開催されます。高齢となり、気力・体力共に衰えを感じるようになりましたが、是非とも頑張ってお席いただき同窓会を盛り上げていただきたくご案内いたします。

## 夢・希望

第15回生 吉野 二郎

2年前に古希を迎える事が出来た。長い様で又短い72年間であった。その中で安富町から通っていた山高時代の3年間は夢と希望の溢れる充実した時期であった。部活は音楽部でこれも又、楽しい思い出ばかりである。部顧問は秋月先生で、お洒落でダンディな方で

した。途中で他校に赴任されたが、コースだけでなく色々な事を教わった。私事であるが今春一番上の孫が高校に入学した。彼の高校生活3年間は私同様、夢と希望に満ちた楽しい充実したものと成る様、願うばかりである。

## 七滝七不動めぐり

第16回生 八木 勝利

一宮文化協会主催の「不動尊と滝めぐり」をしました。一宮出身ですが、40年間都会生活の後、12年間山崎に住んでいます。滝めぐりです。滝は不動尊の石碑は苔むした姿で鋭くも慈愛の視線を投げかけ、圧倒される反面、安らぎます。反省と生気が戻る思いです。滝に接近すると涼風が漂い、リーダーに続く般若心経は空では無理ですが、7回目にはコピー頼りになんとかリズムが取れます。

因に、会長と副会長は山高OBでした。

## 懐かしき啓明寮

第21回生 薄木 正夫

山崎高校を卒業して、かれこれ半世紀。当時、高校には「啓明寮」があり

ました。遠距離通学の群北部の生徒が入寮していました。平凡な日々でしたが、当時の出来事の1コマ1コマがとても微笑ましく、懐かしく思い出されます。ある意味、陽だまりのような場所であつたりとした時間を過ごさせてもらいました。生活を共にするという経験が私の人生にとって、どれだけ大きなものであつたか。「同じ釜の飯を食った」仲間たちに感謝!

## 城郭探索と出会いの楽しみ

第22回生 竹内 克司

いつしか還暦を経て、過ぎ去る時間の速さを実感しています。退職後、疎遠であつた郷土の歴史や文化にふれる機会を持ち、今は城郭探索にはまっています。大河ドラマ「軍師官兵衛」では山崎町が舞台となり、篠ノ丸城跡に訪れた多くの登城者とのふれあいが忘れられません。郷土を離れて久しい同窓生の皆様へ一言「しろうSNSタケネット」に「宍粟・播磨の城跡」をはじめ「宍粟の原風景」や「地名の由来」等にあふると宍粟を満載しています。是非のぞいてみてください。

## 卒業してから45年…近況報告

第24回生 大西 耕治

高校を卒業し、42年間勤めた宍粟市役所を定年退職後、宍粟市シルバー人材センターでお世話になり、丸3年が経過しました。

シルバー人材センターは、主に60歳以上の方が退職後、それまでの経験を活かした仕事などに従事することによって、地域社会への貢献や自分自身の生きがいづくり・健康づくり等を図ることを目的とするものです。

シルバーの仕事に従事していただく方を「会員」と言いますが、お客さん(依頼主)の思いと会員さんの受け取り方が違い、たまにちよつとしたトラブルになることもあります。42年間の役所勤めの時もいろいろありましたが、その時とはまた違った緊張感を味わっています。

十人十色と言いますが、人は顔も性格も置かれていた状況もそれぞれ違います。双方の意見や言い分をよく聞き、解決策を模索しなければなりません。

事前によく状況を確認しながら、お互いが納得できる仕事を提供させていただきます。と思っています。



## 地域創世とふるさと

第28回生 中村 司

現在、宍粟市も人口減少対策として地域創世に取り組んでいます。地域創世を成し遂げるには、生まれ育った地域に誇りを持つことが大切だと感じています。また、豊かな自然環境を守り、歴史、文化、伝統を継承し、互いを敬い支え合う心を次世代に引き継いでいくことがかかえのない故郷を守っていくことに繋がると思います。同窓生の皆さん故郷での原体験を思い出し、都会の喧騒から離れ帰郷されませんか。故郷はみなさんの帰りを待っていますよ。

## 地元思う

第29回生 前野 幸夫

母校である山崎高校を卒業して気が付けばはや40年余り、私自身、山崎町で就職したこともあり人生の大半を地元である山崎町で過ごしていることになりました。40数年前の山崎町と現在を比べると、豊かな自然は変わっていませんが、町の様子は徐々に変わってきています。特に少子高齢化の波を感じています。一体、10年後、20年後わが故郷はどうなっているのかと、あ

れこれ思い案じながら、あと少しで還暦を迎える年齢になってしまいました。

## 山崎高校の 新たな取り組みに思う

第30回生 久保 欽哉

本年度、山崎小学校長に着任早々、母校山崎高校から突然の訪問を受けました。将来先生をめざす若者に、先生になるための様々な力をつけさせるため、特化したカリキュラムを施す「教育類型」というコースが新設されたとのことでした。そして、本校に体験学習（教育実践）の場として、力を貸してほしいというご依頼を受けました。我々教師にとつて、後進を育てていくことは重大な責務です。さらに、本校の子どもたちに先輩方の頑張る姿を見せることは、将来の夢にもつながるのです。相互にプラスとなることは、足踏みする必要なし！山崎小学校教職員一丸となって、この取り組みをサポートする所存です。  
頑張れ山高生!!



## 私の財産

第38回生 浅田 和典

山崎高校卒業後、大学に行き、中学校教員として西宮に勤務しました。その後、宍粟に帰って勤めさせていただけで22年目になります。宍粟で勤めていると、山高の同回生と共に仕事をしたり、教え子の保護者として出会ったり、地域の活動の中で出会ったりします。若い頃に知り合ったということ、前置き無く親しく話をさせてもらえ、本当にありがたいことだと思っっています。地元の高校に行ったからこそその財産です。

## 繋がっています

第41回生 鈴木 祐介

山崎高等学校を卒業して28年が過ぎました。15年前に色々な事が重なり、山崎に帰ってきました。現在は姫路市内の社会福祉法人で社会福祉士として働いています。子どもにも恵まれ、4人の父として頑張っています。子どもたちは山崎高校に進学しませんでしたが、長女は進学先の高校で、私の一年時の担任の先生に、次女は三年時の担任の先生に、長男は中学校で部活動でお世話になった先生の息子さんにお世

話になり、これも何かの縁ではと思っております。この繋がった縁を大事に、親子共々頑張っていこうと思っっています。

## 宍粟市、ギネスに挑戦!

第47回生 衣笠 暁智

8月13日は毎年恒例の山崎火花大会でした。今年は30回という節目の年でもあり、河川改修の川開きイベントも兼ねて、ギネスに挑戦しました。

「世界一は夢じゃない」を合い言葉に最多人数による腕組み乾杯のギネス世界記録更新に挑戦しました。人集めのために在校生の方、同窓生の皆様にも声を掛けさせていただきました。その甲斐あって、宍粟市が世界一になることが出来ました。

当日、猛暑の中、参加していただいた方、会場外から応援していただいた方、本当にありがとうございました。

## 必死のバッチ

第55回生 藤田 栄一

私は現在、宍粟市立一宮北中学校で勤務しております。教科は保健体育、部活動はソフトボール部を指導してお



ります。中学生の時から、教師になることを目標とし、それが現実となり、また生まれ育った宍粟の地で働かせていただいていることに幸せを感じています。大変なことも多い仕事ですが、高校時代を共に過ごした仲間と、よく飲み、よく語りながら明日への活力にしております。山高55回生！必死のバッチで頑張ろう。

## 69回生の皆さんへ

第69回生 武田 岳

69回生の皆さんお元気ですか。僕は元気です。ほとんどの方が宍粟市以外の学校や職場に行かれたと思いますが、そろそろ新しい環境にも慣れてきた頃でしょうか。就職の方は仕事を覚えるのに大変だと思いますし、大学や専門学校の方は勉強とバイトの両立で大変だと思いますがくじけずに頑張ってください。またお正月やお盆には宍粟市に帰ってきてください。一宍粟市職員として心からお待ちしております。それでは皆さんお元気で。



## 教育類型1期生18名入学!

山崎高校では今年度から普通科に「教育類型」というコースを新設しました。これは、毎年30名程度が教育関係（教師や保育士、スポーツインストラクターなど）への進学を希望しているという実態を踏まえ、設立されました。内容は、兵庫教育大学との連携による大学訪問や大学教授による授業体験、山崎小学校との連携による出前授業、自然体験としてのキャンプ（1泊2日）や氷ノ山登山・スキー実習など、多くのプログラムが用意されています。

今年度は18名が入学してきました（定員は24名）。1学期には、兵庫教育大学の濱中裕明教授による研究授業を受け、山崎小学校の授業見学や放課後チャレンジ塾のボランティアに参加しました。また7月27日、28日には野外活動センターと音水湖カヌークラブにおいて野外活動研修を行いました。生徒たちは「非常に良い体験ができた」「教育類型に入って良かった」と報告しています。

2学期は兵庫教育大学の藤原忠雄教授の出前授業と、氷ノ山登山を、3学期にはスキー実習と山崎小学校への出前授業を予定しています。

普段の生活については5組6組に分かれて、授業も他の生徒とともに学習しています。彼らは目的意識がハッキリしているのも、学習やその他の活動についても積極的です。山崎高校を引っ張っていく存在になってくれることを期待しています。



## 協力金のお願い

事務局より

\*「山高」は皆さまお一人おひとりの力で発行されています\*

毎年ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この「山崎高等学校同窓会報「山高」は母校や同窓生の近況をお知らせし、母校の発展と同窓生の御活躍の糧となりますように念じ発行させていただいておりますが、その費用は皆様方の協力金で運営されています。出費多大の折とは存じ上げますが、引き続きお一人おひとりのご協力を是非お願いいたします。





男子バレーボール部

主将 上川悠馬

私達男子バレーボール部は、七月二十日から開催された近畿大会に出場してきました。私達の目標は、一回戦を勝ち進み、二回戦で今年のインターハイ準優勝校の開智高校と試合をすることでした。

大会会場に入ると、テレビや雑誌で見るような各県を代表する強豪校がたくさんいました。私達は他の高校に比べて、人数が少なく平均身長も今大会で一番低かったと思います。一回戦の相手、大阪の上宮高校も圧倒的に私達よりも身長が高かったです。ただ私達は体格で負けていることは自分達の

代に変わったときから分かっていて、それを言い訳にはしたくないから、粘りのあるバレーを徹底してやってきました。

そして始まった一試合目の第一セット、慣れない大きな体育館、相手校の激しい応援、独特な雰囲気、一気に序盤の流れを持っていかれました。しかし落ち着いて一点一点取返し、相手のミスにも救われ七点差をひっくり返して第一セットを取りました。しかし気の緩みや簡単なミスが大事な勝負所で出てしまい、第二セットを落としてしまいました。最終セット、切り替えて声を出して粘りをみせたものの近畿大会のレベルは甘くなく敗退してしまいました。

自分達の代になった当初は、大会でも全く勝つことができず、悔しい思いばかりしてきました。主将がこんなんだからチームも弱いんだと、本気で悩んだこともありました。しかし休みの日もずっと練習、普段も一番遅い時間まで残って毎日全員が努力をしてきた結

果として近畿大会出場を果たせたと思います。

顧問の先生や家族、体育館の他の部活などたくさんの方の協力があったからこそ成し遂げられたことなので、本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。これからも山崎高校男子バレーボール部の応援を宜しくお願いします。



お知らせ

山高 55 回生 (岡 美里)

丘みどりコンサート

とき **2018年1月13日(土)**  
開場 13:30 開演 14:00

ところ **山崎文化会館大ホール**  
TEL (0790) 62-5300

料金: 1階席 4,500円 2階席 3,500円

同窓生の皆様のご声援、ご来場を心からお願い申し上げます。







# 近畿大会を終えて

男子ソフトボール部

主将 小林裕大

県総体では、エースの田上が怪我のため投げられなかったところを、2番手の岩崎の好投とチームの目標だった賢く打線が実現し、準優勝をおさめ近畿大会への切符を手に入れました。

近畿大会では田上が怪我から復活し、ようやくベストメンバーで闘える状況になりました。初戦の相手は大阪優勝校の関西大倉高校で、足を使った機動力のあるチームです。守備の時には緊迫したギリギリのプレーが沢山ありましたが、ピッチャー中心にしっかりと守りきり、打撃も県総体に続き賢く

く打線が功を奏し6対1で勝利しました。2回戦は滋賀の彦根工業に対して、先発メンバーが全員安打で一方的に攻め、17対0で5回コールド勝ちしました。準決勝の相手は、県総体で打ち破った明石高校となりました。先制点を取られたものの、その裏すぐにタイムリーや相手のバースボールで3点を奪い逆転しました。しかし、終盤になってくるにつれて張りつめた緊張感のためか守備のエラーで1点差まで追いつかれ、最終回には勝利まであとアウトひとつまで迫ったものの、押し出して同点になりタイムブレーカーに入りました。無死二塁から始まる八回表、ノーアウト走者二人のピンチを連続奪三振で抑えましたが、続く四番打者に3点本塁打を打たれ力投を続けていた田上が降板となりました。さらに、継投の岩崎も連打を浴び2点追加されてしまいました。それでも八回裏の攻撃で逆転しようと最後まで諦めずに攻撃をしましたが、反撃も2点止まりで5対8で負けてしまいました。

とても楽しかったです。この1年間、キャプテンとしてチームをまとめることがとても大変で、辞めたいと思うことが何度もありましたが、最後はチームが一つになって戦い抜いたので良かったです。また、ソフトボールをする上でたくさんの方々に支えられて、特に顧問の上野先生と梅本先生には何度も失敗を繰り返してきた僕たちを最後まで見捨てず、指導してくださったのでとても感謝しています。ありがとうございました。ソフトボールを通して、体力や技術だけでなく精神面も成長できたと思います。この経験を今後の生活に活かしていきます。また、後輩たちには真面目に練習に取り組んで、僕たちが行けなかった全国大会に出場できるように頑張ってください。



## 平成29年度 離着任職員一覧（敬称略）

離任職員		[転出先]	
小西 信吾	教頭	伊和高校	校長
尾崎 敬一	事務長	上郡高校	事務長
寺田 文章	地歴・公民	再任終了	山崎高校時間講師
今井 洋	農業	退職	山崎高校時間講師
鶴谷 光伸	理科	退職	
津山 優秀	農業	淡路高校	
吉田 征司	情報	高砂高校	
長谷川昇平	農業	播磨農業高校	
本屋敷 健	数学	飾磨高校	
八汐 麻由	理科	相生高校	
谷口まどか	保健体育	退職	
井上 智絵	養護	姫路市立小学校採用	
内藤 新	事務	兵庫県立歴史博物館	
伊野 益子	校務員	退職	

着任職員		[前任校]	
篠原 歩	教頭	千種高校	教頭
本窪田喜広	事務長	夢前高校	事務長
合田 尚也	農業	農業高校	教諭
石橋 裕之	理科	八鹿高校	教諭
藤坂 敦夫	英語	新採用	
奥田 敏統	農業	新採用	
縄手 晴日	地歴・公民	新採用	
森下 舞	保健体育	宍粟市	
櫻井 彩加	外国語	山崎高校	時間講師
井口 幸	養護	宍粟市	
橋本 光広	農業		
小倉 智子	事務	佐用高校	主査
藪田 美穂	校務員	赤穂高校	臨時校務員



## 平成28年度 卒業生の進路状況

## 国立大学

岡山大学	1
広島大学	1
鳥取大学	1
島根大学	1
合計	4

## 公立大学

都留文科大学	1
高知県立大学	1
下関市立大学	1
合計	3

## 私立大学

東海大学	1
名古屋外国語大学	1
龍谷大学	2
同志社女子大学	1
京都女子大学	1
京都橘大学	1
京都外国語大学	2
京都造形美術大学	1
関西大学	4
近畿大学	3
甲南大学	4
関西外国語大学	5
大阪経済大学	1
大阪産業大学	2
大阪工業大学	2
大阪学院大学	1
大阪芸術大学	1
大阪大谷大学	1
びわこ成蹊スポーツ大学	1
千里金蘭大学	1
森ノ宮医療大学	1
大阪電気通信大学	2
追手門学院大学	1
帝塚山学院大学	1
相愛大学	1
阪南大学	1
神戸海星女子学院	1
甲南女子大学	3
関西国際大学	2
関西福祉大学	4
神戸松陰女子学院大学	1
神戸学院大学	10
神戸女学院大学	1
神戸親和女子大学	1

神戸芸術工科大学	1
神戸国際大学	1
神戸医療福祉大学	1
甲子園大学	1
流通科学大学	3
兵庫大学	1
姫路大学	3
姫路獨協大学	4
岡山理科大学	5
就実大学	1
福山大学	1
広島工業大学	1
徳島文理大学	3
合計	92

## 公立短期大学

新見公立短期大学	2
合計	2

## 私立短期大学

関西外国語短期大学	1
四條畷学院短期大学	1
大阪青山短期大学	1
産業技術短期大学	1
武庫川女子短期大学	3
神戸女子短期大学	3
日ノ本短期大学	2
兵庫大学短期大学部	1
山陽学園短期大学	1
合計	14

## 看護医療系専門学校

姫路赤十字看護専門学校	1
姫路医療センター付属看護学校	1
姫路市医師会看護専門学校	3
相生市看護専門学校	1
関西医科大学付属看護専門学校	1
神戸中央病院付属看護専門学校	1
神戸看護専門学校	1
はくほう会医療専門学校 明石校	4
ソワニエ看護専門学校	2
津山中央看護専門学校	1
旭川荘厚生専門学院	1
岡山医療センター付属看護助産学校	1
順正高等看護福祉専門学校	1
神戸医療福祉専門学校三田校	2
神戸総合医療専門学校	2

東洋医療専門学校	1
神戸医療福祉専門学校三田校	1
兵庫県立総合衛生専門学校	1
岡山歯科衛生専門学校	1
姫路歯科衛生専門学校	1
新大阪歯科衛生士専門学校	1
神戸医療福祉専門学校 中央校	1
合計	30

## 一般専門学校

タキイ研究農場付属園芸専門学校	1
京都建築大学校	2
京都府立林業大学校	1
近畿測量専門学校	1
ECCコンピューター専門学校	2
大阪ウェディング&ブライダル専門学校	1
大阪観光専門学校	1
大阪調理製菓専門学校	1
大阪ビューティーアート専門学校	1
大阪リゾート&スポーツ専門学校	1
関西美容専門学校	1
高津理美容専門学校	1
神戸愛犬専門学校	2
神戸国際調理製菓専門学校	1
神戸電子専門学校	3
神戸ベルエール美容専門学校	2
神戸元町医療秘書専門学校	6
総合学園ヒューマンアカデミー	2
日本調理製菓専門学校	3
日本分析化学専門学校	1
ハーベスト医療福祉専門学校	3
兵庫栄養調理製菓専門学校	3
姫路経営医療専門学校	1
姫路情報システム専門学校	4
姫路福祉保育専門学校	2
姫路理美容専門学校	4
みかし学園日本栄養専門学校	1
兵庫県立森林大学校	3
大原簿記情報法律専門学校	6
合計	61

## 公務員

警察官	2
市役所	2
自衛官	1
合計	5

## 就職

石塚硝子 株式会社 福崎工場	1
ウツミ工業 株式会社	1
かねこ歯科医院	1
株式会社 G-7オートサービス	1
株式会社 エイテロジテック	2
株式会社 オサキ	1
株式会社 神戸製鋼所 加古川製鉄所	2
株式会社 ツボサカ精工	1
株式会社 ナカシマ	1
株式会社 兵庫イエローハット	1
株式会社 マルアイ	1
株式会社 御菓子司あらき	1
株式会社トッパンパッケージプロダクツ	1
川崎重工 株式会社 明石工場	1
川重明石エンジニアリング 株式会社	1
希望軒	1
極東産機株式会社	1
久我木材工場株式会社 山崎プラカ工場	1
コスコクレーブ大阪	1
ゴダイ株式会社	1
サンアロイ工業 株式会社	1
実業マイブル株式会社(社名変更)	1
シマダヤ近畿株式会社 兵庫工場	1
新日鐵住金株式会社 広畑製鐵所	1
高瀬設備株式会社	1
淡陽信用組合	1
特定非営利法人メインストリーム協会	1
特別養護老人ホーム あじさいホーム	2
特別養護老人ホーム サンライフ御立	1
特別養護老人ホーム しそうの社	1
特別養護老人ホーム神戸まどか園	1
長田産業株式会社	2
西日本衛材株式会社	2
日本フレックス工業株式会社 山崎工場	1
日本郵便株式会社 近畿支店	2
ハチ食品株式会社 兵庫工場	2
ハリマ農業協同組合	1
ヒガシマル食品株式会社	1
広畑鋼板工業株式会社	1
フクシン金属工業株式会社	1
フジプレミアム株式会社	5
有限会社 ミック auショップ山崎	1
有限会社 やまぼうし	1
株式会社 IHI 相生工場	1
有限会社 三見商事 夢乃井	1
合計	56